

令和7年（2025年）4月25日

～A型肝炎患者及びE型肝炎患者の発生について～

- 4月24日、県内で、今年初めてのA型肝炎（4類感染症）の患者（1人）及びE型肝炎（4類感染症）の患者（1人）が確認されました。（全国では今年、A型44件、E型170件（4月24日現在）が報告されています。）
- これまでの県内の発生は、平成18年からの累計でA型39件、E型25件です。
- A型肝炎及びE型肝炎の感染経路は、両方とも経口感染であり、主にウイルスに汚染された食物、水等の摂取により急性肝炎を引き起こします。
- 感染予防策としては、手洗い及び飲食物の加熱が重要です。
- また、E型肝炎は、動物からヒトへの感染事例の報告もあることから、ブタ、イノシシ、シカを食べる際には、中心部まで火が通るよう十分に加熱してください。特に、妊婦や高齢者は、E型肝炎感染による死亡するリスクが高いため、注意しましょう。

<患者の概要：A型肝炎>

- （1）患者：男性（60歳代）、玉名市在住
- （2）職業：会社員
- （3）症状：全身倦怠感、発熱、黄疸、肝腫大、肝機能異常、心窩部痛
- （4）経過
 - R7年2月上旬～ 仕事のため南アジアに滞在
 - 3月20日：帰国。
 - 4月11日：微熱、心窩部痛あり。
 - 4月20日：症状悪化のため、有明保健所管内の医療機関Aを受診。肝機能の低下を認めたため、有明保健所管内の医療機関Bを紹介され、入院。
 - 4月21日：症状悪化のため、熊本市の医療機関Cへ転院。
 - 4月23日：医療機関Bでの検査結果から、A型肝炎と診断。

<患者の概要：E型肝炎>

- （1）患者：男性（75歳）、球磨郡在住
- （2）職業：農業
- （3）症状：全身倦怠感、黄疸、肝機能異常、食欲不振、白色便
- （4）経過
 - 4月10日：全身倦怠感と白色便等のため、医療機関Aを受診。
 - 4月11日：肝機能異常のため医療機関Aの紹介で、医療機関Bを受診し入院。
 - 4月19日：検査の結果、E型肝炎であることを確認。
病状は快方に向かっている。

■ A型肝炎とは

- ・ 4類感染症で、主に、A型肝炎ウイルスに汚染された食品や水の摂取によって経口感染します。2～6週間の潜伏期間を経て、全身倦怠感、食欲不振等を伴い、その後黄疸が現れます。治療は、対症療法となります。

(予防)

- ・ 汚染された食品及び水の摂取により感染することが多いので、予防には手洗いや飲食物の加熱が重要です。
- ・ また、ワクチンを用いた積極的予防法が推奨されていますので、A型肝炎の流行国に渡航する際は、ワクチン接種を検討してください。

■ E型肝炎とは

- ・ 4類感染症で、E型肝炎ウイルスに汚染された食品や水の摂取によって経口感染します。2～9週間の潜伏期間を経て、A型肝炎に類似した症状が現れます。妊婦で劇症肝炎の割合が高く、致死率が20%にも達することがあります。治療は、対症療法となります。

(予防)

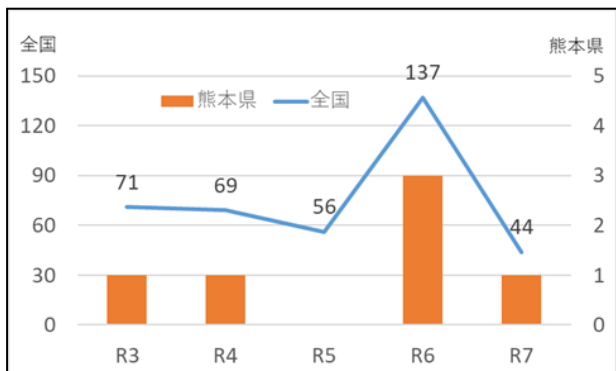
- ・ A型肝炎と同様に、予防には手洗いや飲食物の加熱が重要です。
- ・ E型肝炎流行地域へ旅行する際は、清潔の保証がない飲料水を摂取しないように注意する必要があります。

■ 熊本県でのA型及びE型肝炎の年間発生件数（今回の事例を含む） ※R7.4.24現在

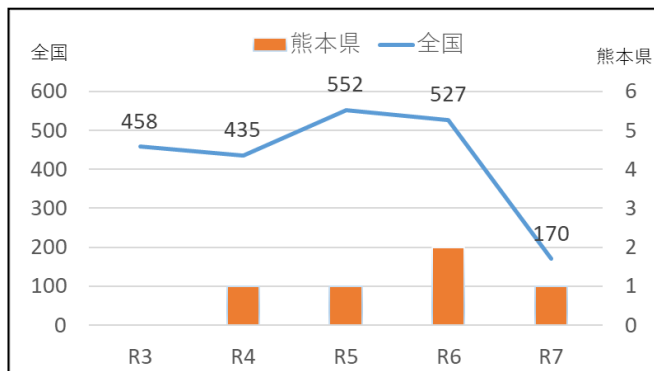
年	H18～R2	R3	R4	R5	R6	R7※	合計
A型肝炎	33件（0～5件/年）	1件	1件	0件	3件	1件	39件
E型肝炎	20件（0～2件/年）	0件	1件	1件	2件	1件	25件

記録が残っている平成18年以降、両方とも県内での死亡事例はありません。

A型肝炎



E型肝炎



（お問い合わせ先）

健康危機管理課 感染症対策班 担当：松本
電話：096-333-2240（直通）（内線 33168）